2018年4月号「vol.94」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

共生社会実現、防災、子育て支援などに重点
一般会計1兆8328億円 神奈川県の2018年度当初予算

一般、特別、企業の3会計を合わせ総額3兆9874億円（前年度より21．8％増）に上る神奈川県の2018年度当初予算案が県議会第1回定例会に提案され、3月23日の同定例会本会議で採択されました。このうち県民生活に影響の大きい一般会計は1兆8328億円で2年連続して前年度よりマイナスとなりましたが、政令市に税源移譲した教員人件費1353億円分を除くと前年度より1．4％増となっています。来春、2期目の任期が終わる黒岩知事は「2018年度はこれまでの取り組みの総仕上げの1年。攻めの姿勢で臨んだ」と位置づけ、「共生社会の実現、防災、子育てや中小企業の支援、東京五輪・ラグビーワールドカップを見据えた観光客の誘致、未病対策などに重点・力点を置いた」としています。

少子高齢化が急ピッチで進む日本では都道府県や市町村といった地方自治体の見直しがいわれ、都道府県には市町村の背中を押す広域自治体としの機能が注目されていますが、県の新年度予算案では、未病を看板にした県西、ロボットの相模川流域などの地域の振興事業、私立高校生徒の授業料無償化の拡大、災害への迅速な対応のため県内消防網を整備する全国にさきがけての事業などが盛り込まれています。

【着目の事業】■ロボット共生社会推進事業（2953万円）＝セーリングW杯シリーズ江の島大会の際、自動運転バスで来場者を輸送する実証作業に取り組む

■災害時応急体制の整備（35億4874万円）＝県内の24消防本部の18指令センターのネットワークを整備、大災害時に迅速、的確にオペレーションできる体制をつくる

■私立高校等生徒学費補助金の充実（46億9410万円）＝これまで年収約250万円未満の家庭の生徒に国と県が補助支援して授業料の実質無償化を進めてきたが、これを年収約590万円未満に拡充する

■部活動指導員配置事業（1274万円）＝教員の多忙化を解消するため、まず県立高校10校に配置

■県産野菜を活用したムラサキウニ養殖の技術開発（381万円）＝三浦にある県水産技術センターが3年間をめどに行う技術開発。三浦の特産品のキャベツの不用品を餌に使いムラサキウニを大量に養殖して特産品にしていこうという事業

コレが言いたい！

12月に行った代表質問により、平成30年度当初予算で「福祉タクシー車両導入促進事業費補助（3750万円）」が新たに計上されました。障がい者や高齢者の方々など移動が困難な「移動弱者」が社会参加に対する障壁を乗り越えるために必要なのが移動手段の確保です。車いすのままで乗車できるスロープなどが装備された、ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）など福祉タクシー車両が移動手段として有用であることから、タクシー事業者等の福祉タクシー車両購入に対して補助することとなりました。

今月のひと言

昨年7月より改修工事を行っていた、「県立大船フラワーセンター（愛称：日比谷花壇大船フラワーセンター）」が4月1日よりリニューアルオープンしました。玉縄桜広場の新設やこれから見頃を迎えるしゃくやく・ぼたん園が拡張され、これからの時期沢山の花が楽しめます。

磯子 あれ？これ？

願行寺「塔婆形庚申塔」

磯子区内には43基の庚申塔があります。その中で、最古の庚申塔（台座含む高さ約180㎝×幅70㎝）が中原二丁目の願行寺境内にあります。これは、塔婆に似た形をしていることから「塔婆形庚申塔」と呼ばれるものです。塔には、「寛文5（1665）年2月3日近村念仏講中」と刻印されていることから造立時期が分かります。また、碑面には「大無量寿教」200文字の経文が彫られており、その下には三猿が彫刻されています。

隨縁寺「笠付き庚申塔」

上中里町にある隨縁寺境内に「笠付き庚申塔」があります。「元禄5（1692）年霜月五日（11月5日）」と造立年月日が刻まれています。碑面には「奉勸請帝釋天王」の文字と三猿（さんえん）が描かれています。庚申信仰と結びついている三猿は、もともと中国から伝わったもので、室町時代に青面金剛と習合して広まりました。「見ざる・聞かざる・言わざる」の三つの表情は、「ひとの欠点を見ない、悪口を聞かない、悪口を言わない」と言う戒めの言葉、教えといわれています。

参考：磯子の史話・磯子に残る石仏（久良岐かたりべの会資料）・庚申塔調査員の話

活動報告

天神橋の開通式が3月10日に行われました。初代天神橋は明治9年に築造されました。その頃は、堀割川の船着場から岡村天満宮まで参道が有り、天神橋は「御参」の意味でもある「五三前橋」と呼ばれていたそうです。その後市電が開通し、天神橋前仮停留所が出来ると天神橋（てんじんはし）と称される様になりました。

特定第3種漁港（水産業の振興のためには特に重要であるとして政令定められた漁港）である三崎漁港に建設された「三浦市低温卸売市場」の竣工式が3月18日に行われ、4月から日本初の冷凍マグロ専用卸売場がオープンします。場内の陳列室は15度に低温度管理。床はマグロに傷が付かないよう滑る塗装を使用しています。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月　県議会議員2期目当選
- 環境農政常任委員会委員
- 社会福祉審議会委員
- 社会問題対策特別委員会副委員長
- 政務調査会副会長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい…… FAX 045-751-7600